



■出版社／株式会社 朝倉書店
 ■発行年月日／2002年9月22日（第1刷発行） 2003年4月10日（第6刷発行）
 ※電子出版／株式会社 朝倉書店

第4弾 メモの技術

「無駄の積み重ねがメモである」

メモとは、膨大な無駄を積み重ね、その繰り返しのなかから何かをつかみ取るものかもしれない。俳人正岡子規は、こう言った。

「金持ちが1銭5厘を無駄にしないように、俳人が俳句をつくるとき、良句もできるが駄句もできる。

その駄句を大事にしないで良句ができるはずがない」

私たちはたいていの人が“凡人”である。

天才などほんの一握りだ。正岡子規でさえ無駄を無駄としないで、優れた句をつくった。

まして凡人が、楽しんで結果を得ようとしてはいけないだろう。

メモも同じである。とにかく何でも書く習慣をつけることから始めよう！

【主な内容】

PART 1 ーメモで仕事を変える!発想を変える!

PART 2 ー頭の中を整理するメモと、打合せのときのメモ

PART 3 ー報告・伝達のメモと、人脈を広げるためのメモ

PART 4 ー企画を立てるきのメモ

PART 5 ーアイデアを整理したり、心を落ち着かせるメモ

メモさえ取ってれば...
 という人のための
 とっておきの一冊